

自然とのふれあい

2年

S・E

僕が裏磐梯へ行って知りたかったのは高山植物について銅沼についてでした。この2つに興味を持ったきっかけは、高山植物はいろいろな植物があるからどんな高山植物が裏磐梯に生えているのか気になり興味を持ちました。銅沼はまずどんな沼なのかあまり知らなかったので実際に見てみたいと興味を持ちました。

1日目の火口探検のコースでは見たかった銅沼を見ることができすごくうれしかったです。

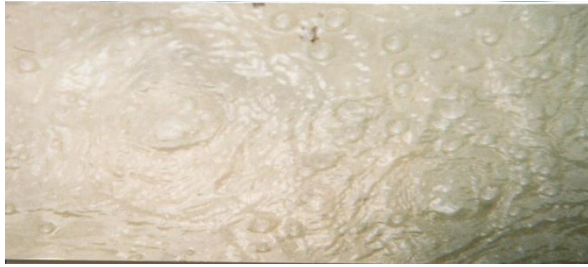
銅沼の写真



銅沼は強い酸性の沼です。そのため銅沼には魚が住むことができません。鳥もカラスぐらい、しかいませんでした。植物も沼の中にはほとんど生えていませんでした。それは金属イオンを多量に溶かしこんでいる酸性の水質のためです。湖底には酸い酸化鉄を含んだ赤い泥たまっているため沼が全体的赤茶けてみえて赤泥沼とも呼ばれています。銅沼の他にも中の湯温泉のわき湯も見ました。



わき湯の写真



わき湯の写真

2回目の高山植物を見ることができるコースでは見たかった高山植物をたくさん見ることができました。

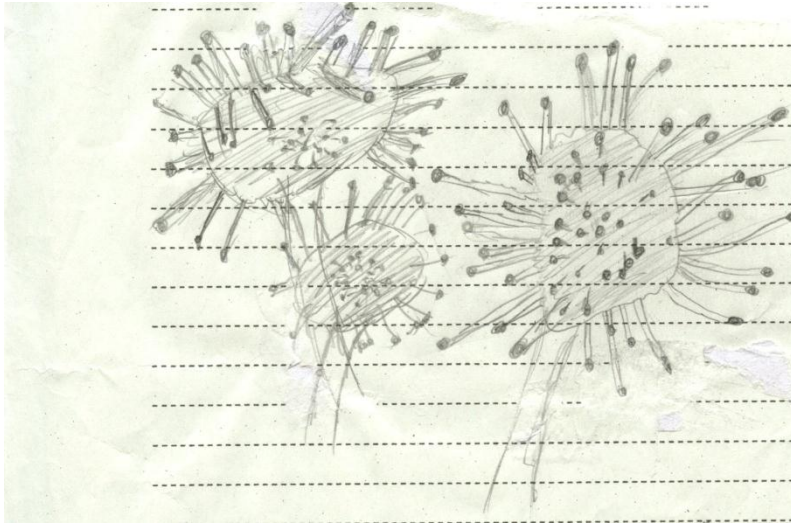


高山植物の写真

山に入ってすぐ見た高山植物はシラタマノキという植物です。この植物はつぶした後に、においをかぐとつぶす前とにおいが違うなどの特徴があります。他にもアカモノ、ナナカマド、ガンコウラン、コケモモ、などの植物を見ました。

アカモノは秋には真っ赤な実をつけます。花は薄ピンクだけど、ガクと花柄は鮮やかな紅色です。ナナカマドは山でいち早く紅葉します。夏に白い花をさかせ秋に赤い実が生ります。ガンコウランはハイマツ帯の周辺の草原などにさきます。花は五月にさき、実を見ることが多いです。スギゴケ様の葉に黒い実をつけます。コケモモは秋に赤い実が生ります。地域によって色が異なり北へいくほど色が濃くなります。僕が一番心に残った植物はヘクソカヅラという植物です。この植物はまだ見たことがないけれどネイチャーガイドの先生の話聞いて一番心に残りました。ヘクソカヅラはとてもにおいが臭く、その植物を虫が食べることによって虫も臭くなり、鳥が虫を食べなくなるトいうこのつながりがあり僕は植物にもこんなつながりがあるんだなあとびっくりして心に残りました。あと福島の高山植物だけでも300種類あり、日本だと500種類あるというのにもすごくびっくりしました。

僕はこのコースで水芭蕉やトリカブトなどの毒をもった植物を見てみたかったのですが実際に見ることはできませんでした。なぜ僕が水芭蕉やトリカブトを見たかったのかというと水芭蕉やトリカブトどちらも猛毒をもっているから見てみたかったし、水芭蕉はきれいな花だと調べて分かっていたのでなおさら見てみたかったです。あと僕はもう一つだけ見てみたかったものがあります。それは食中植物です。



食虫植物のモウセンゴケのスケッチ

なぜ見たかったかというとな食虫植物というのは虫を食べる植物だからとても珍しいなあと
思って見てみたいと思いました。

このコースで見られない植物はありましたがまだ僕が知らなかった植物を見ることができ
て本当にうれしかったです。